

第9回 グリ下会議 会議要旨

1 日 時 令和7年12月18日（木） 11時00分～12時30分

2 場 所 大阪市中央区役所 7階703・704会議室（Microsoft Teams Web 会議併用）

3 出席者 資料1出席者名簿参照

4 議 題

- (1) 第8回グリ下会議の振り返り
- (2) 大阪市以外の関係機関の取り組み状況
- (3) 今後の取り組み
- (4) その他

5 議事要旨

- 事務局より報道非公開での開催、資料1の構成員の追加・欠席・代理出席・オブザーバー参加者の報告
- 大阪市中央区長松田座長より開会の挨拶
 - (1) 第8回グリ下会議の振り返り、大阪市以外の関係機関の取り組み状況
 - ・ 中央区役所保健福祉課長から、資料2-1について説明
 - ・ 大阪府警察本部生活安全部少年課少年育成室から資料2-2について説明
少年育成室では、『継続補導少年』として心理テストや継続した面接指導を行い、立ち直り支援を実施している。また、相談窓口LINEアカウントの開設、QRコードを活用した啓発イベント、地元商店会との連携などを実施している。
今後も、地域・学校・企業と連携して、継続的に見守り・対応していくことを続けていきたい。
- 主な意見・質問
 - ・ 若者の滞在場所が分散している印象について
➤ 場所・時間ともに分散傾向がある。

(2) 今後の取り組み

- ・ 中央区役所保健福祉課長から資料3について説明
- 主な意見・質問
 - ・ 令和8年度実施の見通しと情報発信時期について教えて欲しい。
 - 予算審議の状況を踏まえ、適宜情報提供する。

(3) その他

- ・ 認定NPO法人D×Pより説明（資料非公開）

令和7年4月から12月のユースセンター利用状況を報告。相談内容は「住居」「人間関係」「金銭」「メンタル」「性・妊娠」「障害」など多岐にわたり、若者の総合相談窓口になっているということを感じている。
地域・企業との連携が進展し、就労体験や食事提供企画なども実施している。就労体験ができる機会を作り、セーフティネット的な機能だけではなく、就労に向けた取り組みを試験的に行っている。

○ 主な意見・質問

- 物価高による学生の困窮が顕著で、食費2万円以下が4割超など深刻な状況を説明。全体的にあらゆる年代の方が厳しいとは思うが、親御さんに頼れない子どもたちや学生が全体的に、この物価高で厳しくなり、繁華街での支援の現場でも影響している可能性もあると考える。
- ・ 一般社団法人ひとりぼっちにさせへんプロジェクトより資料5について説明
夜回り活動の状況を報告。奈良・神戸・和歌山など広域から若者が集まる傾向がある。

○ 主な意見・質問

- ・ 活動日について教えて欲しい。
- 不定期であるが、月2～3回の活動を継続予定。
- ・ 東京都より資料4について説明
相談窓口「きみまも@歌舞伎町」を約1年半運営してきたなかで、支援の成果や参考になる事例が出はじめしており、こども家庭庁のオンラインシンポジウムや日本矯正教育学会などの場で発信を始めている。また、音楽団体とも連携し、居場所を見つけられない若い人たちにより安心できる場を提供するための取組も行っている。

る。

○ 主な意見・質問

- ・ 利用者の年齢層と性別について、割合を教えて欲しい。
- 利用者は、未成年・18歳～19歳、20代前半がそれぞれおよそ3割ずつを占め各、性別の男女比はおよそ半々の割合となっている。

(4) 意見・質問の概要は以下のとおり。

- ・ 経済や街の環境が、刻一刻と変化しているなかで、支援対象の若者のニーズや悩んでいる課題、若者が抱えているものが、複雑化していると実感しており、若者支援における、障がい福祉分野との連携は特に必要と考える。
- ・ さらに、地域企業と連携して、子どもたちと一緒にになり、何か一つを成し遂げる取り組みについては、是非続けていただきたいと思っている。
- ・ また、20代前後の若者では、なかなか難しいのかもしれないが、子どもだけではなく親も一緒に支援していくことも重要と考える。

(5) 令和7年度のグリ下会議について

- ・ 事務局より次第4に沿って説明

(6) 大阪市中央区長松田座長より閉会の挨拶

- ・ 各関係機関のご報告を受けて、現状について理解が深まることができた。
- ・ 東京都の貴重な情報を共有いただき、大阪も東京も引き続きの取り組みが必要な状況が継続していると感じたところ。
- ・ 関係機関との継続的な情報共有と意見交換が必要であるので、引き続き連携をお願いしたい。